

溯河魚類通路調査報告

頼 茂・林 義孝・原子 保

発表誌名

昭和55年度溯河魚類通路調査報告書 昭和56年 3 月 青森県

抄 録

津梅川の溯河魚類資源の増大を企るため、河川工作物に効果的な魚道等を設置するための基礎資料を得る目的で次の様な調査を行なった。

(1) 河川の自然的条件調査

ア 河 川 概 況

イ 水 質 ・ 流 量

(2) 生物学的調査

ア 生 物 相

イ 底 生 生 物 相

ウ 溯河性魚類生息密度

(3) 社会経済的調査

ア 津梅川地区の漁業生産の概要

イ 津梅川地区の漁業免許の概要

ウ 遊 魚 の 動 向

(4) 通 路 調 査

ア 河川工作物の概要及び占有、及び所有等の権利関係

イ 通路設置上の問題点

以上の調査を行なった結果、自然的条件、社会経済的な条件ともに満たされているものの、通路建設を予定の第1号堰堤が建設後日が浅くダムの湛れ域部分が埋めつくされていないため、魚道の設計上少々困難性があると判断された。